



入笠山登攀記

45年ぶりに入笠山の頂上に登り、高校1年に夏季合宿を行った時に登って以来の景観を見ることが出来ました。

今回は天候にも恵まれ、見渡す360度の展望は、最近山に登る機会が無かっただけに余計印象に残るものでした。

11月の初めに、同期の仲間5人で富士見駅に集合し、今まで、同期会やクラス会などで何度も話題にはなったものの実行できなかったことが漸く実現することが出来、とても楽しい時を過ごすことが出来ました。

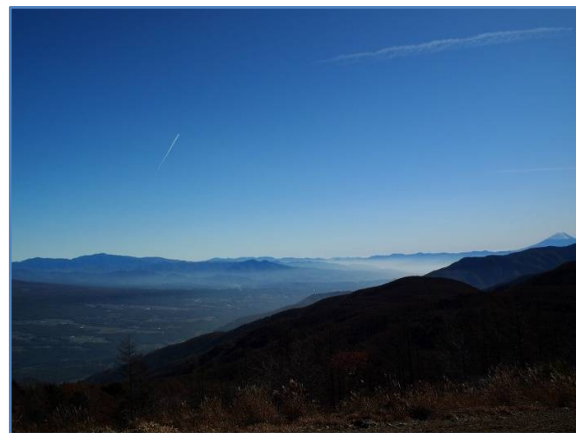
高校の時にこの山を歩いた記憶や感情は思い出せませんでした、この展望にまた来たいという思いも湧いてきました。

都心から、車でも電車でも2時間程度とアクセスは良く、富士見パノラマリゾートとして、夏はマウンテンバイクやハイキング、冬はスキー、春は高山植物や秋は紅葉と年間を通じて賑わっている様です。かつての片田舎の印象(都会の高校生の感覚で)とは全く異なる一大観光地となっていました。

ゴンドラの麓駅(標高1050m)から8分で頂上駅(同1780m)に到着。頂上駅からは整備されたハイキングコースを1時間ほど歩くと入笠山頂上に到着する。(標高差約200m)

頂上付近はかなり急な岩だらけの斜面でしたが、ゆっくり登れば写真のような景色を見ることが出来ます。9時ころのゴンドラに乗り、頂上で30分ほどの休憩と展望の後、幼児連れや犬を連れて来た人ともすれ違いながら40分ほど下ってゴンドラの駅に着き、昼食後に帰路に着きました。

なお、前日は、建って3年ほどの入笠山湿原ユースホステルに宿泊。かつてのユースホステルの印象とは異なる施設と食事にも感動し、食後には食堂で真澄を飲みながら窓から見える星空を眺めつつ談笑。早めに就寝し、翌日入笠山に登りました。



思い立てば気楽に行くことが出来るので、皆さんも出かけてみてはいかがでしょうか。ただし、2000m弱の山なので、足元と天候には十分注意してください。
(T.K 記)

